

上月りようすけニュース

令和2年初夏

参議院議員上月りようすけです。皆さまには大変お世話になっております。新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活も大きく様変わりしています。緊急事態宣言以降、活動が制限される中、皆さまからの不安や疑問など切実な声が連日寄せられ、懸命に対応しております。高校からの同級生でもある西村康稔大臣も奮闘しており、この難局を乗り越えるため、私もこれまでの経験をフルに活かし、全力で職責を果たしてまいります。



▶新型コロナウイルス対策

当初予算成立後、4月30日には第一次補正が異例の早さで編成され、可決されました。1人10万円の定額給付金、最大200万円(個人事業主は100万円)の持続化給付金、自治体が医療対策等に自由に使える臨時交付金、そして民間金融機関でも無利子・無担保で借りられる仕組みづくり、1人1台のタブレット導入による「GIGAスクール」などが措置されました。

さらに二次補正に向け、医療現場の支援、雇用調整助成金の大幅な拡充、事業所家賃への支援、学生支援など積極的に調整が進められています。

現場の声をしっかり伝え、一日も早く皆さまに支援が届くよう取り組んでまいります。



↑いばらき自民党から西村大臣へコロナ関連の要請。

←児童手当上乗せを要請。

コロナ対策本部でマスク対策など強く申入れ。



▶内閣委員会で質問

53回目の国会質問。今回は独禁法でしたが、対象のバス業界をはじめとする公共交通をどう支えていくか。コロナ禍の下での経営支援についてもあわせて質問しました。

人口減少の中、「地域の足」を守ることは必須であり、感染リスクがある中でも、動かし続ける必要がある公共交通機関への支援に取り組みます。また、一定の場合、地域銀行の合併も認められることがルール化されました。地域経済を支える金融機関の役割は大きく、コロナ対策においても是非しっかり地域を支えていただきたいと思います。

▶農産物輸出促進対策委員会

大きく伸びていた農産物輸出も、現在厳しい状況におかれています。東南アジアをはじめ、厳しい中でも輸出促進につながる施策、そして回復局面で他国に負けないようなキャンペーンの準備などについて議論しています。

今後の更なる伸びに向け、どのように「稼ぎ」に繋がる輸出を促進していくべきか、事業者の皆さんから経験に基づくお話を伺い、戦略を練っていきます。

